

2011年4月27日

## アルミナ繊維「MAFTEC<sup>®</sup>」の増設について

～ 自動車排ガス処理装置の旺盛な需要に対応 ～

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区 社長：吉田 宏）は、世界での排ガス規制の強化に伴い需要が伸長しているアルミナ繊維「MAFTEC<sup>マフテック</sup>」の新ライン（2系列）増設を決定しました。新ラインは坂出工場（香川県坂出市）に設置します。

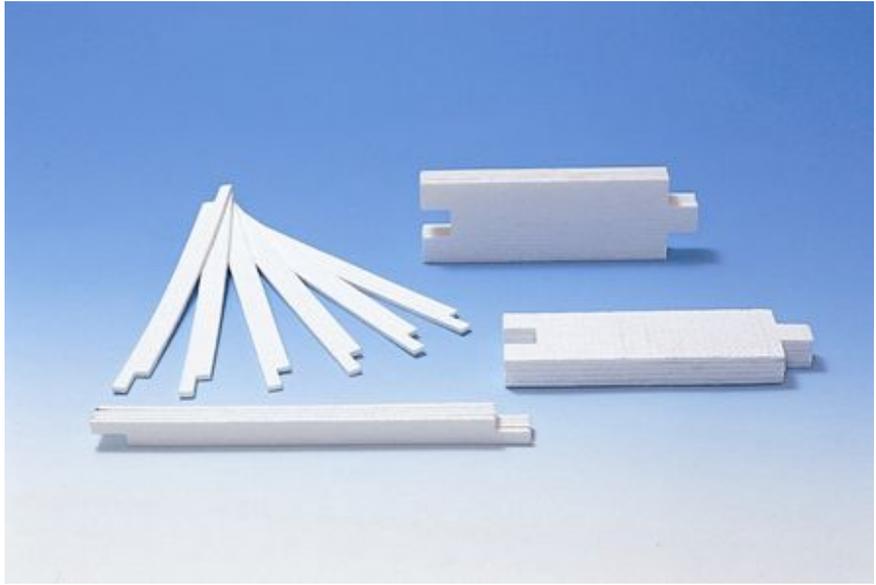
当社が成長事業の一つとして位置づけるアルミナ繊維「MAFTEC<sup>マフテック</sup>」は、1600℃を超える高温環境下でも長時間の断熱性及びクッション性を維持できるなど様々な優れた特長を有し、自動車の排ガス処理装置用触媒コンバーター及びDPF\*のサポート材や高炉用断熱材として、国内外の需要家から高い評価を得ています。特に、触媒コンバーター、DPFサポート材として世界トップとなる約4割のシェア（当社推定）を有しています。

当社は、本年3月、直江津工場（新潟県上越市）において新ライン（約300トン/年）を立ち上げ、生産能力を約4,800トン/年まで増強しましたが、自動車の排ガス処理装置の旺盛な需要は当社の増産を上回る勢いで伸長しております。この旺盛な需要に対応すべく、今般、坂出工場に新たなライン2系列（計800トン/年）の増設を決定しました。竣工は、2012年1月末及び5月末の予定です。

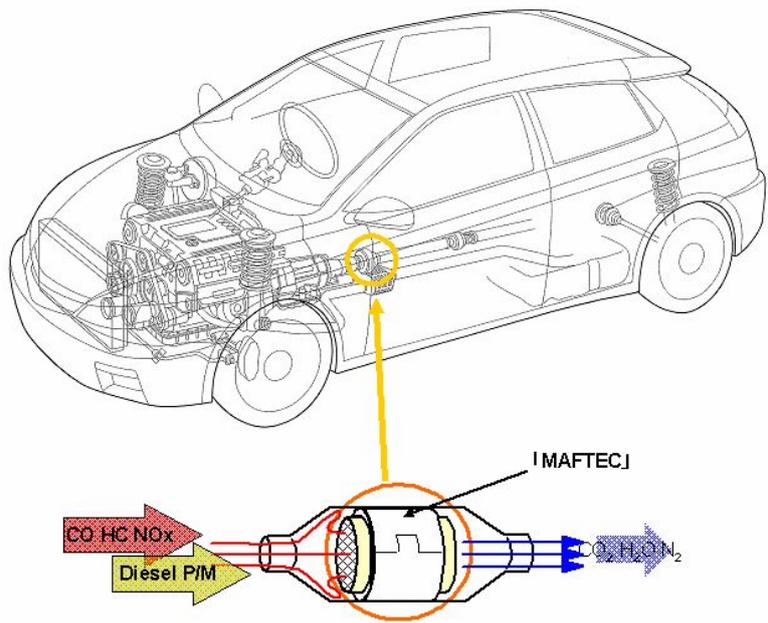
アルミナ繊維は、新興国における自動車生産台数の増加や世界各国における排ガス規制の強化に伴い、今後もさらに需要が伸びることが予想されています。当社は、マーケットの状況を注視しながら、今後も供給能力の拡大を図ってまいります。

\*DPF（ディーゼル・パーティキュレート・フィルター）

ディーゼルエンジンから排出されるスス状物質を浄化する装置



アルミナ繊維「MAFTEC<sup>®</sup>」



自動車の排ガス処理装置の触媒コンバーター用サポート材 説明図

<本件に関する報道関係のお問合せ先>  
三菱樹脂株式会社 総務部 広報室  
TEL:03-3279-3800